

令和6年度大学院生を対象とした
人間総合科学学術院・研究科武者修行型学修派遣支援の募集について（通知）

このことについて、本学術院・研究科大学院生の「グローバル化」の一層の促進を図ることを目的として、下記のとおり武者修行型学修派遣支援を募集します。

については、貴学位プログラム/専攻において下記対象内容に合致する大学院生の派遣計画がある場合は、7月22日（月）正午までに、各学位プログラム/専攻対応の副学術院（研究科）長へ様式1により申請してください。

なお、複数の応募者がある場合は、対応の副学術院（研究科）長へお問い合わせください。

1. 対象者・採用人数

本学術院・研究科に在籍する者（正規生）を対象とする。採用人数は、学術院・研究科全体で17名程度とする。（参考：令和5年度22名応募⇒12名採択）

2. 対象期間

原則として、令和6年9月から令和7年3月末日までに派遣期間が終了するものを対象とする。但し、休学期間中の派遣は認めない。

3. 対象内容

大学院生自身の学位論文に関する研究活動（海外の研究者からの研究手法の修得や研究情報の収集、史料・資料収集、調査実施等）を行うために、大学院生自身が派遣先と交渉して計画した派遣を対象とする。

但し、国際学会、シンポジウム、セミナー、研究集会及び研修等への派遣は対象としない。

また、留学生については、武者修行型学修の趣旨から母国への派遣は認めないものとする。

4. 支援内容

国内移動交通費、日本から海外派遣先の最寄り空港までの往復航空運賃（最下級の低廉なもの）、および日当・宿泊費を含め30万円を上限として支援する。派遣期間は、最長2週間までとする。

5. 報告書

派遣された大学院生は、派遣終了後、2週間以内に報告書（様式3）を提出するとともに、FDプログラム等で成果発表等を依頼する場合がある。

6. その他

派遣先の変更は、いかなる場合も認めない。但し、派遣期間の変更は、場合により認められる。

令和 6 年度大学院生を対象とした人間総合科学学術院・研究科武者修行型学修派遣支援申請書

令和 年 月 日

人間総合科学学術院（研究科）長 殿

学位プログラムリーダー/専攻長

氏名（自筆又は印）： _____

指導教員氏名（自筆又は印）： _____

下記のとおり申請します。

1. 派遣学生	氏名： 所属学位プログラム/専攻・学年・学籍番号：
2. 派遣先	派遣先対応者氏名： 派遣先対応者職名：
	派遣先機関名： 派遣先機関住所：
3. 派遣期間	令和 年 月 日（ ）～ 令和 年 月 日（ ）（ 日間） * 上記の期間は休学中でない。
4. 派遣目的と学修計画	
5. 期待される効果	
6. 派遣に伴う航空運賃（見積書等の根拠資料を添付すること）	【区間・航空運賃】

※派遣先との交渉内容が分かるような文書を提出してください。

令和 6 年度大学院生を対象とした人間総合科学学術院・研究科武者修行型学修派遣支援申請書

令和 年 月 日

人間総合科学学術院（研究科）長 殿

副学術院（研究科）長氏名（自筆又は印）： _____

下記のとおり申請します。

順位	派遣学生氏名
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

令和6年度大学院生を対象とした人間総合科学学術院・研究科武者修行型学修派遣支援報告書

令和 年 月 日

人間総合科学学術院（研究科）長 殿

派遣学生氏名（自筆又は印）： _____

指導教員氏名（自筆又は印）： _____

下記のとおり報告します。

1. 派遣学生	氏名： 所属学位プログラム/専攻・学年・学籍番号：
2. 派遣先	派遣先対応者氏名： 派遣先対応者職名：
	派遣先機関名： 派遣先機関住所：
3. 派遣期間	令和 年 月 日（ ）～ 令和 年 月 日（ ）（ 日間）
4. 派遣先での武者修行型学修の内容と成果	